

豊明市行政評価制度「施策」評価票

施策評価票番号

36

1 施策の概要

1-1 施策の名称	生涯学習の推進			基本施策コード	4-1-1
1-2 担当	部	教育部	課 又は施設	生涯学習課	評価票作成者 生涯学習課長 吉川勝美
1-3 総合計画における施策の体系	①節	教育文化「個性ある文化と豊かな人間性を育むまちづくり」			
	②項	生涯学習の推進			
1-4 施策の目的	生涯にわたって、文化的で健康な生活を全市民が享受する。				

	平成22年度評価 (前期の成果)	平成27年度評価 (全期間の成果)
担当課評価	A	
総合評価	A	

● 施策評価の判定基準

- A : 施策の目的を効果的に達成しているため継続する
- B : 施策推進の実手法等に改善の必要がある

1-5 総合計画における基本成果指標	基本成果指標名	前期（平成18年度～平成22年度）			全期間（平成23年度～平成27年度）			指標の定義
		目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（%）	目標値（単位）	実績値（単位）	達成率（%）	
①	生涯学習施設の数や設備に対する満足度	71.0 (%)	73.2 (%)	103.0	76.0 (%)			市民のニーズに応えられるよう施設の運営を表した指標
②	生涯学習講座のメニューや数に対する満足度	73.0 (%)	72.6 (%)	99.5	77.0 (%)			市民のニーズに応えられるようメニューの充実を表した指標
③	生涯学習の情報提供量・種類に対する満足度	70.0 (%)	69.1 (%)	98.7	74.0 (%)			「学び」のきっかけとして充実した人生を継続的に提供することを表す指標

2 施策の担当課による評価結果

評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	既存事業の構成や優先順位の考え方、新規事業の必要性の考え方	施策の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	施設の建設は、困難であり、講座等の内容を充実してゆく。	より身近な場所で、市民にとって、より充実した講座を開催する。	予算を充実し、豊かな講座内容としたい。
平成19年度	趣味サークル、NPO等、市民を中心とした講座及び子育て支援の講座を多く開催する。	〃	講座の種類を増やし、受講者数及び公民館利用率を高めた。
平成20年度	経済不況などの現状に対応した講座の開催が期待されていく。	〃	公民館講座受講生により5サークルが結成され、市民交流の輪を拡げた。
平成21年度	サークル講座、NPO講座などの、市民が、主体となった講座を開設していく。	〃	国際交流協会との共催により、ブラジル国籍などの子どもたちを対象に日本語教室を開催した。
平成22年度	様々な技能・経験を有する市民や各種講座の修了生から講師を発掘する。より身近な場所で、市民にとって、より充実した講座を開催する。公民館で行われるサークル活動を通して、自発的に学習活動している市民が増えている。	〃	
平成23年度		〃	
平成24年度	様々な技能・経験を有する市民や各種講座の修了生から講師を発掘し、市民のニーズに対応するため、とよあけ市民大学「ひまわり」を開設した。		
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

